

すごろくで知る肝炎予防

肝臓を専門に診る医師らがボードゲーム「肝炎すごろく」を開発した。自覚症状の出にくい「沈黙の臓器」である肝臓のケアに役立つ知識や行動を楽しく学んでもらい、健康への関心が低い10・30代の若年層が生活習慣を見直したり、検査を受けたりするきっかけをつくるのが狙い。イベントなどで一般への無料配布も検討している。

専門医ら開発

日常生活が肝臓に与える影響や、ウイルス感染でがんの原因にもなるB型肝炎肝炎や「脂肪肝」のリスクの新しい啓発を考えるよう依頼した。横浜市立大のデザイナー



肝炎すごろく

このボードゲームは、肝臓の健康を維持するための知識や行動を楽しく学べるように設計されています。肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、自覚症状が出にくいことが多く、長年放置すると肝臓がんや肝硬変の原因にもなります。

このゲームでは、肝臓の健康を維持するための知識や行動を楽しく学べるように設計されています。肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、自覚症状が出にくいことが多く、長年放置すると肝臓がんや肝硬変の原因にもなります。

このゲームでは、肝臓の健康を維持するための知識や行動を楽しく学べるように設計されています。肝臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、自覚症状が出にくいことが多く、長年放置すると肝臓がんや肝硬変の原因にもなります。

ボードゲーム「肝炎すごろく」の一部

習慣見直すきっかけに

「付き合いでお酒を飲むことが多くなる」「アルコールカード1枚、「ストレスがたまり食生活が荒れ始めた」「脂肪カード3枚などリスクのますに交じって「思い切りサクッ」という「コイン1枚」といった改善のますも。肝炎に関するクイズに答えつつ、「発症」のイベントを避けてカードを増やさずコインをためてゴール一番乗りを目指すルールだ。

横浜市大コミュニケーション・デザイン・センターの西井正運動教は「楽しみながら肝臓を守ることが身近になるよう願っている」と呼びかける。問い合わせ先は同センターウェブサイトに <https://y-edc.org/contact/>



肝臓を専門に診る医師らが開発したボードゲーム「肝炎すごろく」=横浜市